

外用殺菌消毒剤

日本薬局方 クレゾール石ケン液

クレゾール石ケン液「タイセイ」

Saponated Cresol Solution

2.禁忌（次の患者には投与しないこと）

損傷皮膚には使用しないこと[吸収され、中毒症状を起こすおそれがある。]

3.組成・性状

3.1組成

有効成分	100mL中 日局クレゾール 50mL (クレゾール 42～52vol%)
添加剤	ナタネ油、水酸化カリウム

3.2製剤の性状

性状	黄褐色～赤褐色の粘稠性のある液で、クレゾール臭がある。
----	-----------------------------

4.効能又は効果

- 手指・皮膚の消毒
- 手術部位（手術野）の皮膚の消毒
- 医療機器の消毒
- 手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒
- 排泄物の消毒
- 膣の洗浄

6.用法及び用量

クレゾールとして、下記の濃度に希釈して使用する。

効能又は効果	使用濃度
手指・皮膚の消毒	0.5～1%
手術部位（手術野）の皮膚の消毒	0.5～1%
医療機器の消毒	0.5～1%
手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒	0.5～1%
排泄物の消毒	1.5%
膣の洗浄	0.1%

11.副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には使用を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.2その他の副作用

	頻度不明
過敏症	紅斑等

14.適用上の注意

14.1薬剤調製時の注意

14.1.1本剤を必ず希釈し、濃度に注意して使用すること。

14.1.2使用濃度と希釈倍数の関係

使用濃度	0.1%	0.5～1%	1.5%
希釈倍数	500倍	50～100倍	33倍

14.1.3炎症又は易刺激性の部位に使用する場合には、正常の部位に使用するよりも低濃度とすることが望ましい。

14.1.4希釈する水にアルカリ土類金属塩、重金属塩、第二鉄塩、酸類が存在する場合、変化することがあるので注意すること。

14.1.5本剤は常水で希釈すると次第に混濁して沈殿することがあるが、このような場合には上澄み液を使用すること。

14.2薬剤使用時の注意

14.2.1経口投与しないこと。

14.2.2眼に入らないように注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。

14.2.3原液又は濃厚液が皮膚に付着した場合には刺激症状を起こすことがあるので、直ちに拭き取り石けん水と水でよく洗い流すこと。

14.2.4長期間又は広範囲に使用しないこと。

18.薬効薬理

18.1作用機序

クレゾールによるタンパク質凝固作用と石ケン洗浄効果を示す。

18.2抗菌作用

本剤は使用濃度において抗酸菌を含む通常の細菌には有効であるが、芽胞及び大部分のウイルスに対する殺菌効果はほとんど期待できない。

19.有効成分に関する理化学的知見

一般的名称：クレゾール（Cresol）

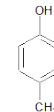
分子式：C₇H₈O

分子量：108.14

化学構造式：



m-クレゾール



p-クレゾール

本質：クレゾール異性体（m-クレゾール、p-クレゾール）の混合物である。

22.包装

500mL（ポリ）

24.文献請求先及び問い合わせ先

東海製薬株式会社 情報室
〒454-0954 名古屋市市中川区江松一丁目105番
TEL:052-302-8501 FAX:052-302-8503

26.製造販売業者等

26.1製造販売元

大成薬品工業株式会社
福岡県筑後市大字熊野字屋敷998-1

26.2発売元

東海製薬株式会社
名古屋市市中川区江松一丁目105番